

令和3年度「国際交流・多文化共生推進事業助成金」助成事業一覧表

	No	事業名	団体名
国際交流・協力事業	1	日中民間交流事業	岐阜県日本中国友好協会
	2	フェアトレード及びSDGsの地域化事業	特定非営利活動法人 泉京・垂井
	3	「リトアニア留学生」との交流事業	山県市ホストファミリーの会
多文化共生推進事業	1	ポルトガル語によるこころの相談	公益財団法人 大垣国際交流協会
	2	県内の外国人高齢者実態調査と支援ネットワークの構築	一般社団法人 中日福祉文化協会
	3	「MICHいっしょにはなそう！みよう！体験しよう！プロジェクト」	多文化演劇ユニットMICH
	4	第20回岐阜県内外国人留学生日本語弁論大会	岐阜地域留学生交流推進協議会
	5	withコロナ時代における外国人住民向け多文化体験交流事業	岐阜日中文化交流協会
	6	多文化共生フォーラム (テーマ①)～各国の現地語が話せない人向けの教育について～ (テーマ②)～Cool Japan 外国人の考えるCool岐阜～	岐阜県世界青年友の会
	7	2021年度 地域グローバル人材育成事業	特定非営利活動法人 可児市国際交流協会
	8	2021年度 KIEA子どもの指導教室	特定非営利活動法人 可児市国際交流協会
	9	日本語等学習支援教室「つばさ教室」事業	関市国際交流協会
	10	日本語等学習支援教室「つばさ教室」事業 あさくら教室	関市国際交流協会
	11	異文化ふれあい講座「日本語講座」	飛騨高山国際協会
	12	海外にルーツを持つ子ども達と家族に対するキャリア教育と進学支援	多文化子どもエデュ niho☆nico
	13	外国人のための日本語講座	公益財団法人 岐阜市国際交流協会

令和3年度 国際交流・多文化共生推進事業助成金事業一覧表（国際交流・国際協力）

No	事業名/団体名	開催時期・場所など	事業内容・効果など
1	日中民間交流事業 岐阜県日本中国友好協会	<p>開催日：ぎふ・中国くるぶ交流講座 ①R3. 6. 27 13:30～15:00 ②R3. 10. 16 13:30～15:00</p> <p>場 所： ①②ハートフルスクエアG 大研修室</p> <p>参加者： ①38名（うち外国人10名） ②52名（うち外国人10名）</p> <p>※年3回実施予定だったが、新型コロナの影響で2回に縮小</p>	<p>日中両国民の相互理解と友好交流を進め、両国の平和と発展に寄与するため、中国事情や日中関係、文化・経済などをテーマにした「ぎふ・中国くるぶ交流講座」を開催した。講師と参加者の活発な意見交換もなされ、本講座を通じて中国への理解を深めるとともに、草の根交流の重要性の再認識と歴史、文化、現代ビジネスにいたる幅広い交流の場の提供することができた。今後は大学生及び留学生を巻き込んだ若い世代の交流を図るとともに、民間交流を通じた人の交流及び文化の相互理解を進めていきたい。</p>
2	フェアトレード及びSDGsの地域化事業 特定非営利活動法人 泉京・垂井	<p>開催日： ①フェアトレード・SDGs学習会 R3. 11. 3 10:00～11:30 ②フェアトレード・SDGs巡回展 R3. 7. 2～R4. 2. 11（計8回）</p> <p>場 所： ①垂井町文化会館、Zoom ②垂井町7地区まちづくりセンター 古民家みずのわ</p> <p>参加者：西濃地域の地域住民のべ114名</p>	<p>垂井町はじめ西濃地域の地域住民が、フェアトレード（以下、FT）及びSDGsの理解を深められるよう、FT・SDGsの学習会と巡回展を実施した。学習会に参加した学生が地元のFT・SDGs関連イベントに参加したり、ボランティアとして活動する等、地域とのつながりが生まれた。巡回展では、垂井町内すべてのまちづくりセンターにて実施し、啓発パネルやFT製品の展示、FTワークショップ（刺繍体験）等を通じて、多くの住民がFT・SDGsについて知り、触れる機会となった。また、各地区のまちづくり協議会と連携でき、地域活動の中でFT・SDGsに取り組む意義や必要性について共有できた。今後も各機関と連携し地域の実情に合ったFTやSDGsの推進を図る。</p>
3	「リトアニア留学生」との交流事業（国際交流） 山県市ホストファミリーの会	<p>開催日：R3. 11. 14～11. 15</p> <p>場 所：山県市内 [東光寺] 書道・お茶体験 [ホストファミリー宅] 交流・夕食 [山県市役所] 表敬訪問 [市内小学校] 授業見学・国際交流 [香り会館] ハーブ石鹸体験 [美里会館] 着付け体験</p> <p>参加者：リトアニア人留学生 3名 山県市立大桑小学校 42名</p>	<p>岐阜県が開催したイベント「リトアニアNOW」に参加した、リトアニア人留学生3名を受け入れ交流事業を実施した。山県市内の小学校を訪問し、リトアニアの文化紹介や、子ども達と一緒に折り紙を楽しむ等交流を行った。また、山県市にて書道・振袖の着付け体験や、ホームステイ等を実施し、日本文化や習慣を体験する機会を設けた。本事業を通じて山県市を身近に感じ、相互理解を深め、友好交流を促進することができた。今回の交流事業を活かし、今後も市民レベルでの交流を継続し、市民・子どもたちの国際交流を推進していきたい。</p>

令和3年度 国際交流・多文化共生推進事業助成金事業一覧表（多文化共生）

No	事業名/団体名	開催時期・場所など	事業内容・効果など
1	ポルトガル語によるこころの相談 公益財団法人 大垣国際交流協会	開催日：R3. 4. 11～12. 12 8回 毎月第2日曜（原則） 9:00～16:00のうち6時間 ※1人1時間 場 所：大垣市スイトピアセンター 参加者：西濃地域在住のブラジル人 延べ46名 相談料：無料 相談員：ブラジル出身のこころのケア 専門カウンセラー	ブラジル人を対象とした母語による「こころの相談会」を月1回実施し、日常生活で生じる不安や悩み全般に対応した。子育てに関する相談が多くあり、相談者からは「自分自身で抱え込んでいた悩みを聞いてもらったので、気持ちが楽になった」等感想をいただいた。一人で悩みを抱えるのではなく、客観的な意見を聞くことで、こころの問題の軽減に向けた一歩を踏み出すことができた。また、日本語でなく、母語で相談できたことは相談者にとってプラスになったと感じた。相談する中で悩みが軽減し、安心して生活できれば、地域にも溶け込みやすくなるため、今後も安心して相談できる環境を提供したい。
2	県内の外国人高齢者実態調査と支援ネットワークの構築 一般社団法人 中日福祉文化協会	開催日： ①外国人住民の介護サービス利用に関するアンケート調査 R3. 4～8 ②ネットワーク会議（Zoom） R3. 6. 27、9. 20、12. 19 3回 2時間 ③介護保険の勉強会・アンケート調査報告会 R4. 1. 9 於：岐阜市生涯学習センター、Zoom 参加者：①47ヶ所からの回答 （回答率16.9%） ②12名（うち外国人9名） ③35名（うち外国人20名）	①県内の介護サービス事業者を対象に、外国人住民の利用状況に関するアンケートを実施し、言語、コミュニケーション、生活習慣、文化の違い等から、介護サービスの利用に困難が生じることが明らかとなった。調査結果は、次の調査・実践につなげていきたい。②外国人住民の介護について意見交換会を実施した。中国、フィリピン、ブラジル人等が参加し、現状や課題を共有するとともに、高齢化問題や介護保険の仕組みについて理解を深めた。③岐阜県社会福祉士会会長を講師に迎え、介護保険制度の講義とアンケート調査の報告会を実施した。介護保険の理解を進める第一歩とすることができた。
3	「MICH Iといっしょにはなそう！みよう！体験しよう！プロジェクト」 多文化演劇ユニットMICH I	開催日：①MICH I LINK 12回 R3. 5. 2～R4. 2. 6 10:00～12:00 ②キャッサバ掘りをしよう！ R3. 11. 7 10:00～12:00 場 所：①可児市文化創造センター、Zoom ②可児市下恵土キャッサバ畑 参加者：①延べ51名（うち外国人51名） ②39名（うち外国人24名） ※「日本語で映画を見よう！」「防災センターへ行くう！」については、新型コロナの影響で中止となった。	①在住外国人を対象に、日本の文化・風習・気候、季節のイベント、クイズ、防災に関する情報、日本語の会話でよく使う語彙や漢字などをテーマに交流会を実施し、参加者同士の交流、情報交換を行った。また労働環境をテーマに勉強会も行い、日本の職場で経験した疑問や悩みを相談する場にもなった。②キャッサバ掘りについては、ブラジル、スリランカ、ウガンダ、日本人の参加があった。本事業の目的である「外国人と日本人が体験を共有し、交流することで国籍問わず多くの地域に知り合いをつくる」ことができ、外国人住民が陥りやすい孤独の解消にもつながった。
4	第20回岐阜県内外国人留学生日本語弁論大会 岐阜地域留学生交流推進協議会	開催日：R3. 12. 4 13:30～16:30 場 所：中部学院大学各務原キャンパス 参加者：[発表者] 留学生9名（4か国） [聴講者] 26名（うち外国人2名） 演 題：自由 ・1人7分の日本語スピーチ後、質疑応答 ・布教、営利に関するものは不可	外国人留学生による日本語弁論大会を実施し、県内の大学と短大に通う中国、ベトナム、ミャンマー、ネパール出身の9名が発表を行った。日本での経験や留学生活から学んだ事等、自由なテーマで発表し、表現力や内容を審査した。日頃の日本語学習の成果を発揮し評価されることで、留学生の日本語学習へのさらなる意欲の喚起及び日本語の表現力向上、日本文化の認識につながった。また、他大学の留学生の発表を聞くことは留学生にとって大いに刺激になるとともに、留学生同士の交流につながり大変有意義な大会となった。
5	withコロナ時代における外国人住民向け多文化体験交流事業 岐阜日中文化交流協会	開催日：①牡丹祭での交流 R3. 4. 18 9:00～12:00 ②中国古代服飾鑑賞交流 R3. 11. 27 13:00～17:00 ③水墨画鑑賞交流 R4. 1. 15 14:00～16:00 場 所：①美江寺（岐阜市） ②岐阜公園（岐阜市） ③喫茶ギャラリームース（関市） 参加者：95名（うち外国人58名） ※美術教育教室は新型コロナの影響で中止となった。	日中を代表する芸術文化、郷土文化の体験交流を実施し、外国人住民が日本の芸術文化を学べる場所、そして日本人住民と交流を深める居場所づくりを行った。中国の国花である牡丹が開花する時期に合わせて牡丹祭を開催し、太極拳、詩吟、二胡演奏の披露や日本の伝統衣装の説明・試着体験等を行い交流を図った。また、中国の古代衣装の展示や説明、「虎」をテーマとした水墨画展や水墨画の作成指導等を行った。いずれのイベントにおいても参加者の反響がよく、外国人住民と日本人住民の相互交流の実現ができた。

令和3年度 国際交流・多文化共生推進事業助成金事業一覧表（多文化共生）

No	事業名/団体名	開催時期・場所など	事業内容・効果など
6	多文化共生フォーラム (テーマ①)～各国の現地語が話せない人向けの教育について～ (テーマ②)～Cool Japan 外国人の考えるCool岐阜～ 岐阜県世界青年友の会	開催日： テーマ① R3. 6. 26 13:30～16:00 ・基調講演（文化庁国語課） ・在住外国人によるスピーチ(4か国) ・日本語習得体験談(2か国) ※アメリカ、イギリス、ブラジル、ベトナム等 テーマ② R3. 12. 4 13:30～16:00 ・在住外国人によるスピーチ (7か国・ブラジル、ベトナム等) 場 所：大垣市スイトピアセンター 参加者：各50名(うち外国人①10名②8名)	テーマ①文化庁「外国人のための日本語教育」基調講演にて国の取組みを伝えるとともに、スピーチより、アメリカ、イギリス等、多文化共生の歴史が長い国々の言語教育、抱える問題点等の理解を深めた。日本における日本語教育については、ベトナムの学習者等から体験が共有されるとともに、幅広い分野の県民との意見交換により交流が深まった。テーマ②県内在住外国人から見た岐阜県・日本について、自国との生活習慣の違いや共通点、日頃どのような事を感じているのか知る機会となった。また、岐阜県をもっと魅力的にするため外国人目線の提案もなされた。参加者からは充実したフォーラムだったとの感想を多く頂いた。
7	2021年度 地域グローバル人材育成事業 特定非営利活動法人 可児市国際交流協会	開催日： ①通訳ブラッシュアップ研修 R4. 1. 22 ②中高生のためのポルトガル語通訳養成クラス ・R3. 4. 1～R4. 1. 25 18:30～21:00 32回 ③学校での支援を考える研究会 ・教員対象の勉強会 8. 4 ・先輩の話 8～10月 4回 ・ワークショップ 7～12月 3回 ・ビジネスマナー研修 11. 12 場 所：可児市多文化共生センター7等 参加者：①15名 ②8名 ③延べ89名	①学校や行政機関で働く通訳者、外国人相談員等を対象に在留資格と手続きについての研修を実施し、スキルアップにつなげた。②中上級のポルトガル語学習を行い、将来通訳者として活躍したいグローバル人材を育成した。③高校進学後留年や退学する外国人生徒が存在するため、教員向けの研修にて今後の支援の在り方について検討した。また、高校進学支援教室にて外国人先輩との対話を行い、悩みや不安の解消を図った。その他、外国人高校生向けのビジネスマナー研修や、子ども対象の自己表現ワークショップ等を実施し、様々な立場や年齢の子どもたちに働きかけができた。
8	2021年度 KIEA子どもの指導教室 特定非営利活動法人 可児市国際交流協会	開催日：おひさま教室 ・教室実施日 R3. 4. 19～8. 6 51日 ・就園支援 R3. 4. 19～12. 31 参加者：外国人の子ども(4～6才) 3名 ※うち通室1名 保護者 3名 参加費：5,000円/月 ※通室は1名だが、他の支援教室の子どもに加わり集団生活のトレーニングを実施。 ※子どもの社会性強化日本語教室は入室希望者がおらず中止となった。	幼稚園・保育園に通っていない外国人の子ども(4～6才)を対象とした「おひさま教室」を実施し、日本語・生活指導を行った。子どもにとって、この教室が初めての集団生活であり、日本語での生活に慣れる事はもちろん、保護者と離れて過ごす事や、集団の中で動く等初歩的な事も指導し、少しずつ身につけていくことができた。新型コロナウイルスの影響で教室が閉室してしまっていた期間(8～12月)は、子ども達の学びを止めないため、家庭学習用の教材を準備・送付し個別に対応するなど、保護者とも連携しながら継続的に支援を行った。保護者には面談を行い、就園に向けてのアドバイスや情報提供を行った結果、1名を就園につなげることができた。
9	日本語等学習支援教室「つばさ教室」事業 関市国際交流協会	開催日：つばさ教室（放課後学習支援） ・R3. 6. 11～R4. 1. 14 16回 ・15:00～18:00 ※参加者はうち1時間程度学習 場 所：田原ふれあいセンター 参加者：関市内の公立小中学校に通う 外国人児童生徒7名 参加費：2,000円※保険料含む	日本語を母語としない児童生徒が日本の学校生活に適應できるよう、放課後に日本語を中心とした学習のサポートを行う「つばさ教室」を実施した。本教室は、例年継続して受講している児童が多いため、スムーズに教室に馴染み、自主的に学習に取り組む姿が見られた。さらに学校での出来事を先生や生徒同士で話し交流したり、授業で理解できなかった事を質問したりと、学校生活の充実につなげることができた。また個人カルテを作成し学習内容を記録することで、レベルや学習の進みに合ったプリント学習(漢字や算数等)を行い、限られた時間で無駄なく学習に取り組めるよう努めた。
10	日本語等学習支援教室「つばさ教室」事業 あさくら教室 関市国際交流協会	開催日：あさくら教室(放課後学習支援) ・R3. 6. 10～R4. 1. 13 16回 ・15:00～18:00 ※参加者はうち1時間程度学習 場 所：関市安桜ふれあいセンター 受講者：関市内の公立小中学校に通う 外国人児童生徒 13名 受講料：2,000円 ※保険料含む	関市内で外国人児童が最も多い安桜地区にて、つばさ教室の分室である「あさくら教室」を実施し、外国人児童への放課後学習支援(日本語・教科学習)を行った。会場近くにある安桜小学校の外国人児童生徒相談員が指導者を務め、学習状況や個人に合わせた指導を行い、スムーズな教室運営を行った。教室で宿題を終わらせ、次の日の時間割や持ち物を先生と確認する姿も見られた。また教室に通うことで学年が違う生徒同士のコミュニティにもなり、高学年の子が低学年の子どもに勉強を教える場面も見られ、双方の学習の向上につながった。

令和3年度 国際交流・多文化共生推進事業助成金事業一覧表（多文化共生）

No	事業名/団体名	開催時期・場所など	事業内容・効果など
11	異文化ふれあい講座「日本語講座」	開催日：[前期]R3. 4. 1～8. 26 10回/クラス [後期]R3. 10. 1～R4. 2. 28 9回/クラス ・入門(学生、社会人)、初級の3クラス ・週1回1時間の講座を実施 場 所：高山市役所会議室 受講者：高山市在住在勤の外国人 延べ22名 (入門学生9名、社会人7名、初級6名) 受講料：1回500円、学生は無料	高山市在住在勤の外国人を対象とした日本語講座を実施し、ひらがなカタカナの読み書きや、日常会話のやりとりの練習などレベルに応じた講座を行った。学生と社会人に分け、入門クラスは初めて日本語を学ぶ方を対象に、初級クラスは初級文法、会話を既に学んだ方を対象に実施した。また、日本の生活習慣や文化の紹介、受講者の相談対応、学生においては宿題や課題の補助など、包括的かつ個別具体的に支援に取り組んだ。受講者からは積極的に日本語で会話しようとする姿勢が見られるなど、日常生活面での日本語能力の向上も見られ、昨年度同様、一定の成果を達成した。
	飛騨高山国際協会		
12	海外にルーツを持つ子ども達と家族に対するキャリア教育と進学支援	開催日：①日曜教室（補習教室） R3. 5～R4. 2 13:30～15:00 毎週日曜 35日 ②キャリア教育 R3. 7～11 3回 ③自己表現ワークショップ ・R3. 11. 7 13:30～16:00 場 所：①③瑞穂市民センター ②華陽フロンティア高校、瑞穂市民センター 参加者：①外国人の子ども 延べ18名 ②高校進学を目指す外国人生徒とその家族 5家族 ③小～高校生26名、保護者4名 (うち外国人15名)	①主に高校進学を目指す外国人の子どもを対象とした日本語・教科学習支援を行うとともに、生活相談等にも対応した。②華陽フロンティア高校見学会の付き添いや、保護者を対象とした進学相談を実施し、情報提供を行った。③日本人と外国人の子どもが言葉に頼らず共同で活動する機会を提供するためワークショップを開催した。3つの事業を通じて、瑞穂市内の小中学校で活動する学習支援員との連携強化が図れた。キャリア教育では、昨年度当団体の進学支援に関わった外国人の子どもが先輩としてアドバイザーの役割を担った。ワークショップでは日本人保護者が外国人の子どもに関心を持ち、支援活動の手伝いをしてくれるようになった。
	多文化子どもエデュ niho☆nico		
13	外国人のための日本語講座	開催日： [前期]R3. 4. 1～8. 13 18:30～20:30 [後期]R3. 10. 4～R4. 2. 8 18:30～20:30 ・初級 I, II 週2回 30回/期 ・初級EX 週1回 15回/期 場 所：ぎふマイアリス、Zoom（岐阜市） 受講者：岐阜市在住の外国人市民 延べ約35名 (初級 I 12名、II 14名、EX9名) 受講料：初級 I, II 1期13,000円 初級EX 1期6,500円 (テキスト代別)	外国人市民が日本で自立した生活を送るための一助とすること目的に、教育機関にて指導経験がある日本語講師から日本語を学ぶ授業形式の教室を実施した。テキスト「みんなの日本語」を使用し、日常生活で必要となる基本的な日本語を学ぶ事で、日本語をほとんど話せなかった受講者が、出身国や休みの過ごし方、仕事など各々のレベルでスピーチを行えるまでの日本語能力を習得できた。また、当協会の別事業「日本語くらぶ」とも連携し、日本人と交流する機会も提供した。来年度も本事業は実施し、継続して日本語学習支援を行う予定。
	公益財団法人 岐阜市国際交流協会		